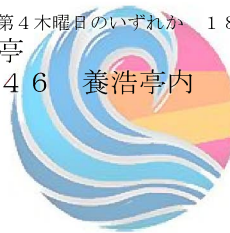


皆野・長瀨ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 小林 一夫会長
 ◇ソング 奉仕の理想



BE THE INSPIRATION

第1475回例会 令和元年6月6日(木)

会長の時間

小林 一夫

皆さん、こんにちは。会長の時間もあと3回くらいになりました。今日も小林正観さんのお話を読ませて頂きます。

「問題を問題と認識しないとあらゆる悩みが消えてなくなる」

夏目漱石の俳句の師匠は正岡子規(明治の俳人)という事になっています。漱石、子規は東京大学の同級生でした。夏目漱石の本名は夏目金之助と言い、彼に漱石という名前を与えたのは子規でした。もともとは子規のペンネームの一つでしたが、後に金之助が譲り受けたのです。漱石とは、中国の古典にある漱石枕流という故事に由来しています。漱石枕流とは石で口を漱ぎ川の流れを枕とするという意味だそうです。しかし本当は枕石漱流、つまり石に枕し、流れに口を漱ぐが正しく、大志を抱いた者は家や収入がなくても、朝は川の水で歯を磨き、夜は石を枕にして眠る。そういうストイックな暮らしをしながら努力するものだという思想を表現しているとの事です。

中国のある隠遁者が当時の王に枕石漱流と言おうとしたところ、間違えて漱石枕流と逆さまに言ってしまったのです。王が間違いを指摘すると隠遁者は「しまった」と思いながらも間違いを認めずに「いや、本当の聖人たる者は、石で歯を磨き、浮き世のくだらない流言を聞いた耳を川の流れで洗うのだ」と言い張ったのだそうです。この中国の故事から負け惜しみの強い事、へりくつをこねることを漱石枕流と言うようになったとの事。子規は中国古典の面白さを知る知人、夏目金之助に「あなたは漱石と名乗ったらどうだ」と言ったのです。

正岡子規は34年間という短い生涯のうち、後半世のほとんどを病床で過ごしています。肺結核をこじらせて脊椎カリエスを患っていたそうです。正岡子規の本名は正岡恒規です。子規とはホトトギスの別名ですが、鳥の名をペンネームに使ったのは、肺結核で血を吐いていた事に由来しています。鳴いて血を吐くホトトギスという言葉があります。ホトトギスは口の中が赤いので、鳴くと血を吐いているように見えます。彼が子規をペンネームにしたのは、ホトト



ギスみたいに口が血で真っ赤だという彼なりのブラックジョークなのでしょう。俳句においては、感想を一切排除し、客観的にありのままを俳句に詠むのが子規の考え方で有り、当時は非常に革新的でした。

「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」の句は子規が28才の時に病床を抜け出して奈良に行った時に詠んだ句で、子規の最も有名な句です。脊椎カリエスの激痛に苦しんでいながら、その痛みについては何も書き残していません。この句は旅の途中で痛みを耐えながら詠んだ句とは思えないほど人の心を癒やします。痛み嘆き、死への恐怖といった内面の問題は一切句の中に投影しないという子規の文学論を実践しているように思えます。

死と隣り合わせて血を吐く自分の姿さえ笑いのネタにし、痛みや嘆きというものを句の題材にしなかった子規は、いわば強靱な精神力を持った人と言えるでしょう。

私達は問題と向き合った時、どうやって解決するかを考えます。しかしそれでは、永遠に問題は無くなりません。努力して頑張って手に入るものではないようです。強靱な精神力を持つには、問題を問題と認識しない事、子規のように病気をも笑い飛ばして問題を問題としない、力を抜いた生き方の出来る人が本当の強靱な精神力の持ち主ではないでしょうか。

幹事報告

畝 徳治

1. 地区事務所より年間活動予定表
2. ロータリーの友事務所より情報提供の依頼
3. 金沢地区つつじ祭り実行委員会よりお礼



《理事役員会報告》

6月	6	木	自由協議	理事役員会
	13	木	秩父RC合同例会へ振替	6月18日(火)
	20	木	次年度打ち合わせ	
	28	木	次年度引き継ぎ	夜間例会 養浩亭
7月	4	木	年次計画発表	理事役員会
	11	木	年次計画発表	
	18	木	休会	
	25	木	親睦夜間例会	

18日は秩父RCとの合同例会になります。バスの運行ですが、午後5時に高橋工務店さんの所で高田さん、その後山田さん、小林さん、萩原さん、宮前さん、私の所、長岡さん、新井通雄さんの順でまわりたいと思います。20日は次年度引継例会、27日は今年度最終例会となります。夜間例会で午後6時30分点鐘になります。

6月15日は長瀬子ども球技大会が開催されます。開会式には会長に出席して頂きます。表彰式には会長他2名の参加を予定しております。

7月の予定ですが、第1と第2例会で事業計画の発表をしたいと思います。それぞれ担当に発表をお願いするか、私が全部読んでお願いするか、このような形でもいいかなと思っています。25日は親睦夜間例会の予定です。提案がありましたら、ご提案を早めをお願いします。よろしくをお願いします。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
12	0	7	1	66.7%



四つのテスト

高田 富康会員

面白い文章があるので、読んで観ます。

「会話はキャッチボール」日々何気なく交わしている会話にはその人なりの癖が表れるものです。その一つが長話になってしまう事です。話が長いなあ。同じ事を何度も言っているなど感じる事はよくある事です。では自分自身はいかがでしょう。話したい事がある時は相手の話を聞こうともせず、一方的に話してしまうものです。しかし、せっかくの話も長すぎると共感を得られないでしょう。もし会話の中で自分ばかり話しているなど感じた時は、相手に話を振るようにしましょう。〇〇だなど思うのだけれど、Aさんはどう思うと話の主導権をバトンタッチする。大勢に向かって話をするスピーチとは違い、会話はキャッチボールです。会話のボールは一人だけで握らず相手に投げしてみましょう。闇雲に投げずに、そろそろかなとタイミングを見計らう事が大切です。まずはキャッチボールの相手の存在を意識する事が改善の第一歩になります。

今日の心がけ、長話に気をつけましょう。それでは4つのテストのご唱和お願い致します。

